

サービス付き高齢者向け住宅



メビウスまほろばデイサービスセンター (まほろば学園)



授業スタイルのレクリエーションが人気！
楽しみながら脳活、コミュニケーション



「今日、シャボン玉をします」と、まずは普通のシャボン玉。あちこちでシャボン玉ができては壊れていく。

「キ〜ンコ〜ン♪ カ〜ンコ〜ン♪」。懐かしい音色のチャイムで授業が始まった。1時限目は国語。先生(スタッフ輪番制)が「さあ、今日の国語は、四字熟語問題」と、早速ホワイトボードへ「悪戦」の2字が記される。すかさず「悪戦苦闘！」と声が飛ぶ。「では、どういう意味でしょうか、〇〇さん」と先生の指名を受け、生徒(利用者さん)が「苦しみながらも頑張ること」と答える。「はい、正解です。では、次」と、「攫千金」「一念発起」など次々と問題を解いていく。

続いては、「脳トレプリントですよ」と、野菜や果物の読み方。難問が多い中、「山葵」「蚕豆」「玉蜀黍」などは、すらすらと読む人が多い中、「石柏」「芽花椰菜」「甘蕉」は苦戦。頭をぼかぼかたたきながら「出て来〜い！」と頑張る人や、「むずかしい！」と頑張る人や、「むずかしいなあ。高齢者を悪戦苦闘させないで」と前出の四字熟語で先生に抗議する人も。トイレ休憩を挟み、2時限目は「理科」。白衣を着て科学の先生然としたスタッフが現われ、「今日は、シャボン玉をします」と、まずは普通のシャボン玉。あちこちでシャボン玉ができては壊れていく。

夏オープンしたサービス付き高齢者向け住宅「メビウスまほろば」のデイサービスセンター「まほろば学園」。1日2時限、「国語」「算数」「理科」「社会」「体育」「音楽」「工作」など、授業スタイルのレクリエーションが好評だと聞き、授業参観させてもらった。



学園長 小谷 浩平さん

身体機能と共に、「考える」能力を引き出し、「声に出して発表」することで、『脳の活性化』をめざしています。繰り返しの中でできるようになる喜びを得、向上心や学びの意欲が、自宅でも家族との会話など、日々の生活に活力を持たせることにつながっています。



脳活のほかに、個別や小集団での機能訓練も行われている。



「冷た〜い!!」

ニール袋に入れて、「皆さんで力を合わせてごろごろしてください」「手が冷た〜い!!」「疲れた〜」と言いつつも全クラスでアイス完成。スプーンを口に運びながら全員大満足の笑み♪



「水の温度下げるには?」「塩!」。正解です」と、科学的な説明の後、各テーブルで、牛乳と缶みかんをシール袋に入れ、それを氷一杯のビ

「あ、不思議?!」と皆で挑戦する。ひとしきり遊んだ後、「皆さん、ここでおやつのアイスクリームを作りたいと思います。15分で。」え、ムリムリ! 冷凍庫でも一晩かかるわあ」と生徒。(中略)



そこで先生、「シャボン玉でお手玉しますよ」と秘密の液体を注ぎ、膨らませたシャボン玉を、軍手をはめた手でふわりふわりとお手玉。「あら

緑地公園併設、奈良県総合医療センター、ならこープが至近距離に!



▲まほろば学園スタッフの皆さん 常時は、学園長+スタッフ6人体制で20人の生徒さんを担当

近鉄西ノ京駅から徒歩5分、「六条山」下車すぐ

サービス付き高齢者向け住宅

メビウスまほろば デイサービスセンター (まほろば学園)

☎0742-81-7828

〒奈良市六条西4-6-20



見学・体験
随時受付



西の京病院が
全面的にバックアップ!

不安を解消する

認知症の正しい理解と予防

2012年の国内の認知症患者数は約462万人で、65歳以上の高齢者の7人に1人。この割合は年々増えると予想される。認知症への正しい理解、認知症を遅らせる予防法を知ることから始めよう。

楽しい脳活で目標のある生活



サービス付き高齢者向け住宅

メビウスまほろばデイサービスセンター

「まほろば学園」

学園長 小谷浩平さん

年を取っても考える能力は引き出せます。また考えたことを声に出して発表することで言葉数も多くなり、脳の活性化につながります。単なるゲームや体操、コーラス、ものづくりではなく、昔誰もが経験した「算数」「国語」「理科」「社会」「音楽」「家庭科」「体育」など、知的要素を含んだカリキュラムの授業風レクリエーションを行っています。

繰り返しの中で、できるようになる喜びなど、高齢になっても目標を持ち、課題をクリアしていく楽しさが、日々を充実させます。また、授業中に、昔取った杵柄というか、楽器演奏や手芸、医学知識など、得意分野での知識や技術を披露することが、意欲につながっていきます。

老後の不安解消
脳活



人生100年時代

老後の不安

ファイブ

5

認知症
孤独

病気やケガ
体の衰え
お金



65歳以上の人口は3,558万人で、総人口の28.1%。つまり日本人の4人に1人が高齢者だ。今回の高齢者特集は「老後の不安」と題して、①認知症 ②孤独 ③病気やケガ ④カラダの衰え ⑤お金の5つの不安にスポットを当て、専門家の皆さんに不安を解消する取り組みや意見を伺った。